

いちのせきサイエンスカフェ開催
 コーヒーなどを飲みながら研究者などの専門家と科学の会話を楽しむコミュニケーションの場、それがサイエンスカフェです。



サイエンスカフェの様子

「いちのせきサイエンスカフェ」は、カフェスタイルで研究者などの専門家と国際リニアコライダー（ILC）の研究内容や素粒子物理学などの科学について気軽に語り合い、科学を身近に感じ、親しめる講演会（セミナー）で、市が昨年度から開催しています。

今年度の第1回講座が8月2日、一関図書館で開かれ、小中学生や高校生をはじめ、幅広い年代から約20人が参加し、素粒子やILCの研究内容などについて



参加者と気軽に意見交換

理解を深めました。

講師は東京大学大学院理学系研究科科学コミュニケーション特任研究員でイラストレーターの秋本祐希氏が務め「ILCで見る素粒子と宇宙」と題して講演を行いました。

秋本氏は、自身のイラストを交えたスライドを用い、ILCの実験でヒッグス粒子の性質解明や新粒子の発見などが期待されると説明。中学生には「今から素粒子物理学者を目指す」と、ILCが完成する頃に

全力で研究できるタイミング」と話し、夏休み等を利用し、研究所公開やオープンキャンパスに参加することを勧めていました。

参加者は、リラックスした雰囲気の中にも熱心に耳を傾け、意見交換では普段疑問に思っていることなどについて積極的に質問するなど、科学に対する興味、関心を深めていました。

今後の「いちのせきサイエンスカフェ」の開催期日やお申し込み方法などについては、最終面の「お知らせ」をご覧ください。

県民集会
 「〜岩手の未来を拓く〜
 ILCシンポジウム
 in岩手」開催

ILC実現に向けた地元の熱意と理解を全国に広げるため、岩手県国際リニアコライダー推進協議会（会長・谷村邦久県商工会議所連合会・会長）は、7月2日、盛岡市内で、県民集会「〜岩手の未来を拓く〜 ILCシンポジウム in岩手」を開催。県内の自治体や経

Contents

- ◆いちのせきサイエンスカフェ開催
- ◆県民集会
 ～岩手の未来を拓く〜ILCシンポ in岩手
- ◆やまのめ子どもILCデザイン塾
- ◆ニュースクリッピング
- ◆Ichinoseki Lives Cosmopolitan
- ◆お知らせ
- ◆教えてネイトさん！

300人が参加しました。

谷村会長は、冒頭のあいさつで、「文部科学省の有識者会議によりILC実現に向けた課題が整理されたことで、今後の活動内容がより具体化され、実現に向けて一歩一歩進んでいることを実感している。ILC



県民集会 鈴木学長の講演の様子

* ILCニュースの英語版を一関市国際リニアコライダー推進ホームページに掲載しています。

の実現は、世界に拓かれた新しい岩手の創造につながる千載一遇のチャンス。そのためにはまず、岩手県民が一丸となること、東北が一丸となることが重要である」と強調しました。

第1部は「ILC実現に向けて」と題し、高エネルギー加速器研究機構（KEK）の前機構長で岩手県立大学学長の鈴木厚人氏が講演。

鈴木学長は、ILCが実現すれば「50年から100年にわたり日本が世界の素粒子研究の最前線基地となる」とし、建設までの準備期間に行うこととしては「地元のILC推進組織とKEKのILC推進準備室、世界の技術部隊が一体となる態勢を早期に構築してほしい。東北の推進団体がまとまったコンソーシアム（共同体）を組織して様々な活動の一本化を図る必要がある」と語りました。

また、産学連携の新たな姿として「大学の研究者と企業が一体となって大学を持つシーズ（技術の種）」と



県民集会 パネルディスカッションの様子

企業のニーズ（必要性）を合わせればイノベーション（技術革新）は生まれる」とし、多企業参画によるラボ（研究所）の創設などを提案しました。

続く第2部では、ILC戦略会議議長で東京大学素粒子物理学国際研究センター准教授の山下了氏がコーディネーターを務め、鈴木学長、岩手大学学長の岩淵明氏、朝日新聞社編集委員の高橋真理子氏をパネリストに「先端科学技術が拓く未来の世界」をテーマにして、ILCをめぐる現状や加速器研究の意義、人材育成などについてパネルディスカッションを行いました。

参加者は、国などに「ILCの国内誘致方針の早期

決定と資金分担や研究参加に関する国際調整等を速やかに進めること」を求め、県民決議を満場一致で採択しました。

やまのめ子ども ILCデザイン塾 夏まつりで神輿披露

山目五民区（那須英喜区長）は、市の「子どもたちによる地域の情報発信事業」を活用した「やまのめ子どもILCデザイン塾」の一環として、ILCデザインの

神輿を制作し、8月9日、一関夏まつり子供七夕みこし大会で披露しました。

神輿の制作に先立ち6月13日には、親子でILCを学ぶ勉強会を開き、その後



子どもたちが描いたILCポスターによる神輿

奥州宇宙遊学館を見学するなど、ILCへの理解を深めた上で、小学生を対象としたポスターコンクールを開催。国際化をイメージさせるものや、宇宙を想像させる作品14点の応募があり、全ポスターを飾り付けた神輿を地域住民が制作しました。まつり当日は小学生約20人が神輿を担いで市内を練り歩き、ILCをPRしました。

那須区長は「ILCは小学生には少々難しいテーマかと思っていたが、取り組みの中で理解を深め素晴らしい作品で応えてくれた」と子どもたちの豊かな感性に目を細め「民区の多くの方々にも各種取り組みに積極的に参加いただき、協



ILCポスターによる神輿がまちを練り歩く

力してもらった。ILCの実現に向け、民区としても一体感をもって活動できたことが大変よかった」と述べ、ILC実現に期待を込めていました。

「やまのめ子どもILCデザイン塾」では、子どもたちが科学を通じて国際感覚を身につけるとともに、地域住民もILCへの理解を深め、応援することを目的に、ILCのトンネルをイメージした民区花壇の整備やILC実現を応援する看板の設置などの事業にも取り組んでいます。



山目五民区の花壇とILCポスターがプリントされた看板



©Rey.Hori/KEK

ILCに関する有識者会議（第4回）

開催日 6月25日 **場所** 文部科学省

ILCに関する有識者会議（座長・平野真一 名古屋大学名誉教授）の第4回会合が開催され、これまでの二つの作業部会での検討や有識者会議での議論を踏まえた以下の内容の提言を含む「これまでの議論のまとめ」が示されました。

- ① ILC計画は、巨額の投資が必要であり、国際的な経費分担が必要不可欠。巨額投資に見合う科学的成果が得られるべきであるとの観点から、新粒子の発見の可能性などについての見通しを得るべき。
- ② 2017年（平成29年）末までの計画として行われている欧州合同原子核研究機関（CERN）の大型円形加速器（LHC）の実験結果を踏まえた判断が必要。
- ③ 計画の全体像を明確にしつつ、国民及び他の学術研究分野の科学者の理解を得ることが重要。

また、平野座長より、有識者会議から文部科学省への検証結果の最終報告については平成29年度末頃に行うという見解も示されました。

リニアコライダー国際研究所 建設推進議員連盟総会

開催日 6月25日 **場所** 国内

ILCの日本誘致を目指す超党派の国会議員によるリニアコライダー国際研究所建設推進議員連盟（河村建夫会長）が総会を開催し、日本誘致に向けた課題の一つである国際分担について、アメリカやヨーロッパと具体的な協議を進めることなどを盛り込んだ日本政府への要望を決議。要望には政府決定に至るまでの検討プロセスを国内外へ明示、ILCの建設・運営予算や人材の国際分担協議の開始、技術やコスト面での課題解決等に向けた予算措置、国際戦略の観点から政府と議連による一体的議論、などが盛り込まれました。

いわて加速器関連産業研究会設立総会

開催日 6月8日 **場所** 盛岡市内

岩手県は、加速器関連産業に係る産学官の交流及び連携の場を創出するとともに、県内企業の技術力向上や取引機会の拡大等の推進を目的に「いわて加速器関連産業研究会」を設立しました。

設立総会には、54企業、団体から約120人が参加し、規約、役員を選任、平成27年度事業計画などが承認され、会長には、岩手大学工学部副学部長藤代博之氏が就任。事務局は、いわて産業振興センターが務め、企業参入の促進に向けて、コーディネーターを配置し県内企業の取引支援などを行っていくこととなりました。

磐清水小学校でのILC授業

開催日 7月1日 **場所** 磐清水小学校

勝部市長によるILC授業が、磐清水小学校の4～6年生26人を対象に行われました。講師を務めた勝部市長は、素粒子やCERNの住環境などについて説明。後日、市長へ児童から、「初めはあまり意味がわからなかったけど、話を聞いてきちんと理解することができました。私は将来ILCの仕事につきたいです」「難しい話だったけど質問の時もみんながわかるように教えてくださいました。大人になったら僕もILCで研究したいです」など、ILC実現への期待や大きな夢が書かれた手紙が届けられました。



ILC計画候補地における地質調査等説明会

開催日 7月18日 **場所** 興田市民センター

東北大学と岩手県は、ILCの施設建設に必要な地下データを得ることを目的に大東地域で実施する地質調査に向けた地元説明会を開催しました。説明会には地元住民約30人が参加。調査は▽弾性波探査▽電磁探査▽地表地質踏査▽ボーリング調査の4種類で、実施期間は、弾性波探査と電磁探査が8月、地表地質踏査は9月、ボーリング調査は9～12月の予定となっています。

中学生最先端科学体験研修

開催日 8月5日～7日 **場所** 茨城県つくば市

市教育委員会が主催する「中学生最先端科学体験研修」が茨城県つくば市の高エネルギー加速器研究機構（KEK）などで行われました。

この研修は、最先端科学の施設を観たり、研究者や科学者の話を聞くことにより、科学技術に対する理解を深めることを目的に、平成23年度から毎年開催しており、今年には市内と平泉町の19中学校の3年生62人が参加しました。体験研修で学んだことや感じたことなどをまとめたレポートは次号のILCニュースで紹介します。お楽しみに！

Ichinoseki Lives Cosmopolitan



ケビン・トムソンさん

市ではILCの実現を見据え国際化を推進しています。
ここでは、市内で活躍する国際人を紹介します。
今回は、平成23年から藤沢町に住んでいるアメリカシトル出身のケビン・トムソンさん。

Q：趣味は？

A：料理やカラオケ、それと温泉ですね。あと科学にも興味があります。特に宇宙のこと。

Q：一関市のどんなところが好き？

A：長い国際交流の歴史を持っていること。市の国際交流のおかげでオーストラリアやベトナムの方などに会うことができ、友達になりました。

Q：一関市の英語教育に関して何か誇りに感じていることはありますか？

A：英語のスピーチコンテストへの参加が年々増えてきているのが素晴らしいことだと思います。東北大会や全国大会といったレベルにも進出していて、一関市での英語教育のイメージアップにつながっています。

Q：最後に、ILCの実現に向けて一言お願いします。

A：ILCは、震災後の東北の復興や地域の活性化に必要だと思います。北上高地にILCが出来れば、一関市が科学・産業の中心的存在になると信じています。

お知らせ

◎いちのせきサイエンスカフェ（第3回、第4回）開催予告

コーヒーなどを飲みながら、素粒子物理学をはじめとする科学について、研究者などの専門家と気軽に語り合えるサイエンスカフェに参加しませんか？

【会場】一関図書館（大手町2-46）2階 サンプルーム

【参加人数】30人程度

【参加料】200円（但し学生は無料）

【内容】下表のとおり

【参加申込】参加申込書を市ホームページやフェイスブック等からダウンロードいただき、電子メール、FAXで市ILC推進課あてに申込みください。（先着順）

電子メール：ilc@city.ichinoseki.iwate.jp

FAX：0191-21-2164

【問合せ先】市ILC推進課

TEL：0191-21-2111（内線8646・8647）

第3回	
期日	平成27年11月15日(日)
内容	【市民向け】北上サイトでのILC
講師	東北大学大学院理学研究科 准教授 佐貫智行氏



第4回	
期日	平成28年1月16日(土)
内容	【市民向け】ILCを見据えたまちづくり
講師	東北大学キャンパスデザイン室 キャンパスデザイナー 小貫勲子氏

English 教えてネイトさん!

今すぐ使える ネイトの英会話教室

Outside the west exit of Ichinoseki station. Bob, a foreign researcher, asks Aya, a resident of Ichinoseki, for directions.

A: Excuse me.

B: Yes?

A: Could you tell me how to get to the Ichinoseki City Library?

B: Sure. Go straight down this street, and turn right at the second traffic lights.

A: At the second traffic lights.

Thanks a lot.

B: You're welcome.



(和訳)

一ノ関駅西口。一関市内に居住する彩さんが外国人研究者であるボブさんに道を尋ねられました。

A：すみません。

B：はい♪

A：一関図書館までの行き方を教えてくださいませんか？

B：いいですよ。この道路をまっすぐ行っていただいて、二つ目の信号を右に曲がってください。

A：二つ目の信号ですね。どうもありがとう。

B：どういたしまして。

HP、SNSでILC情報を発信中!

専用のHP（ホームページ）、SNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）を利用し、ILCの情報を発信しています。

パソコンやスマートフォンなどの携帯端末から手軽に利用できますのでぜひご覧ください。



©一関市国際リニアコライダー推進ホームページ

一関市 ILC 検索

ILC ニュース Vol.14

いちのせきリニアコライダー通信
October 2015

発行 岩手県一関市

編集 市長公室 | ILC推進課

〒021-8501 岩手県一関市竹山町7番2号
TEL 0191-21-2111（内線8646・8647）
FAX 0191-21-2164
URL <http://www.city.ichinoseki.iwate.jp/ilc/>
E-mail ilc@city.ichinoseki.iwate.jp